



2022年5月16日

各位

会社名 株式会社はるやまホールディングス
代表者名 代表取締役社長 中村 宏明
(コード番号 7416 東証スタンダード)
問合せ先 CFO 西山 剛生
(TEL 086-226-7101)

通期連結業績予想と実績の差異及び繰延税金資産の取崩し 並びに（個別）特別損失計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期決算において繰延税金資産の取崩しをおこないました。また、2022年3月16日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想に見込んでおりました商品評価損および特別損失の金額について差異が生じたのでお知らせいたします。

また、個別業績につきまして特別損失を計上いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の差異について

2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,700	△4,470	△4,070	△5,930	△362.73
実績値(B)	36,685	△2,787	△2,312	△7,896	△482.95
増減額(B-A)	△15	1,683	1,758	△1,966	—
増減率(%)	△0.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	38,220	△3,687	△3,017	△4,880	△298.92

差異の理由

2022年3月期の連結業績予想において商品原価に計上することを見込んでおりました最大1,570百万円の商品評価損について、当該商品の販売状況をモニタリングする中で、販売可能価格を再見積りした結果、計上した商品評価損は224百万円となりました。また、以下に記載の2. 特別損失および3. 法人税等調整額（借方）を計上することになったことから、通期連結業績予想と実績に差異が生じました。

2. 特別損失の発生（前回見込みの修正）

不採算店舗の閉店による店舗閉鎖損失引当金繰入額115百万円（前回見込み200百万円）、主に収益性の低下などによる営業店舗の資産にかかる減損損失1,797百万円（前回見込み1,300百万円）及びその他特別損失173百万円（前回見込み110百万円）の合計2,087百万円（前回見込み1,610百万円）の特別損失を計上することになりました。

3. 繰延税金資産の取崩し

2022年3月期及び今後の業績動向を総合的に勘案し繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の取崩し等により、法人税等調整額（借方）に3,498百万円を計上いたしました。

4. (個別) 特別損失の発生

2022年3月期単体決算において、はるやま商事株式会社(連結子会社)は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により2期連続で損失を計上し債務超過となりました。同社に対する貸付金に対して、債務超過額に相当する額の貸倒引当金繰入額7,413百万円を特別損失として計上いたしました。

なおこの特別損失は、連結決算において相殺消去されるため連結業績に影響はあたえません。

以 上